

「本」とともに輝くまちをめざして



【発行】
〒669-2397
兵庫県丹波篠山市北新町41
丹波篠山市役所第2庁舎1階
市民生活部人権推進課
電話：079-552-6926
FAX：079-554-2332

2021.02

INTERVIEW

こやま みちこ
小山 三智子 さん

塾の講師をしながら、篠山ストーリーテリングの会の代表や、子どもと本を読む会「かたつむり」でも活動されている小山さん。

3人のお子さんを育てられ、お忙しい中でも、常に前向きにチャレンジを続けられている小山さんにお話をお聞きしました。

篠山ストーリーテリングの会

◆平成7年9月1日活動開始

ストーリーテリングは、文字や絵に頼らず、語り手がお話を覚えて語る、耳からの読書とも言える。子どもから大人までを対象に、お話や読書の楽しさ・大切さを伝えている。

◆活動の場

認定こども園・幼稚園・小中学校・学童・子ども会・中央図書館等、要請に応じて活動している。

◆表彰歴

篠山市：みどり賞(平成 17 年度)、文部科学大臣表彰(平成 24 年)、篠山市：教育功労賞(平成 24 年)、なかしんふるさと賞(平成 24 年)、ソロチミスト日本財団：社会ボランティア賞(平成 30 年)

塾の講師を始めるきっかけは？

家業の店舗を縮小し、何をしようかと考えていた時、三男が「やるなら今しかない！いつか準備ができたならなんて考えていては、いつまでたってもできない。思いついた今、やるべきだ」と背中を押してくれたことがきっかけで、平成 25 年 4 月から小学生の勉強をみることになりました。

主に、3年生から6年生の約 10 人に算数と国語を教えています。保護者の方から、「最近、子どもに自信ができました」と言ってもらえたことが、とても嬉しく、やりがいにつながっています。

ストーリーテリングの会の活動内容は？

ストーリーテリングは、言葉だけで、語り手と聞き手が一つのお話を共有します。

単なる暗記ではその世界は伝わりません。私自身、聞き手とお話を共有できたとき、初めてストーリーテリングというものを感じ、とりこになりました。

お話の世界を体験することにより、子ども達に生きる力や聞く力をつけて心豊かに育てほしいとの思いから、同じ思いを持つ仲間と一緒に会を設立することにしました。

国内外の昔話や創作物語を、文字や絵に頼らず覚えて語るため、聞き手の目や表情を見ながら語るができます。一つの世界を共有できたと感じられたときは至福の喜びです。

定例勉強会ではメンバーの前で語り、お互いに評価をし、アドバイスを受けたり、定期的に講師を招き、メンバー以外にも呼びかけてストーリーテリング講座を開いています。近隣で開催される講座にも積極的に参加するなど、研鑽に努めています。



ストーリーテリングの会の様子



ストーリーテリングの会の様子

以前、支援学級の子どもが絵に縛られることなく、想像の世界に入っていることが感じられた経験があり、とても感激したことをよく覚えてしています。

チャレンジしていることは？

昨年の5月から絵本・児童文学研究センター(小樽市)の基礎講座(全 54 回)を受講中です。毎月 2 講座の DVD が届きレポートを提出しなければならないのですが、成績がついて返却されるので、ものすごく刺激になっています。

昔ばなし大学では、小澤俊夫先生の下で勉強・研究を続けています。昔ばなしをきちんとした言葉で次世代に残し、伝えようという勉強・研究で、現在も続行中です。

一昨年、酒井貞子人材育成基金の助成金を頂き、「ふしぎな黒大豆～丹波とその周辺の昔ばなし集～」を発行しました。私達が再話(昔話などを、分かりやすく書き直したものの)したものをまとめたものです。

私一人ではなく、思いを同じにしている仲間が全国にいることがとても励みになっています。

以前、後川小学校で 100 枚のキルト展が開催された時、展示のお手伝いに行った際に先生と出会い、パッチワークをするようになりまして。落ち込んだ時も、何も考えずにチクチク縫っていると、リフレッシュできます。現在、タペストリー(新作)にチャレンジ中です。

家族には、私のやりたいことをさせてもらっていることに、とても感謝しています。相手のやりたいことを尊重し、その領域に踏み込まないことが、家庭がうまくいくコツでしょうか。



【作成中のパッチワーク】
周りのデザインを模索中

♪教えて小山さん♪ Q&A



パッチワークの
ウェディング用ウェルカムドッグ

Q：これまでの経験で、印象的なことは？

A：昔ばなし大学でドイツやウィーンを訪れた時、現地を先生に解説していただきながらめぐり、グリムやエリザベート(ハンガリー帝国后妃)のいた世界を感じられたことです。

Q：仕事やプライベートで、やりがいを感じる時は？

A：塾の子ども達が、問題が解けたり、「分かった！」と嬉しそうな顔をしてくれたり、「教室に来るのが楽しい」と言ってくれた時です。ストーリーテリングでは、聞き手の表情やその場の空気で本当にお話を共有できたと感じられるとき、達成感を感じています。

Q：仕事のモチベーションを上げる秘訣は？

A：観劇・コンサート…自分の生き方の参考になっています。また、気持ちの切り換えにもなることが多く、次に行くのを楽しみに、色々なことを頑張ることができています。

Q：好きな言葉は？

A：「朝飯前」という言葉が好きです。朝食前にもできるほど簡単だというように用いられることが多いですが、「朝食前にすると効率が良い」という英文学者の説に従い、朝食前にレポートを書いたり、パッチワークをしたりしています。とてもはかどりますね。

日々の生活で思うことは？

丹波篠山市は優しい人が多いですね。自然環境も良く、歴史・文化もあり、お祭りなどの四季折々の行事も趣があります。近所の方たちにも子育てにいっぱい関わってもらい、助けていただきました。若い時は神戸が好きでしたが、ここ丹波篠山市で3人の子育てができたことが、自分にとっても子どもにとっても大変良かったと思っています。

昨年、エイル(北欧の女神の名前)という犬が家に来てくれました。エイルの散歩のおかげで早朝から走るようになって、健康的な毎日を過ごすことができています。また、犬は人がつらい時ぴったりとこちらの気持ちに寄り添ってくれるので、とても癒されます。



愛犬：エイル

小学生や中学生の時に読み聞かせをしていた子ども達が高校生になって出会った時に、「小山さん、今も読み聞かせに行ってるの？」とわざわざ話しかけてくれることがあります。その当時は分からなくても、子ども達の心に残ってくれているということが分かり、やっていて良かったと感激したことが印象に残っています。

これからしたいことは？

勉強の苦手な子や学校に行きにくい子が来てくれる、居場所のような教室にしたいと思っています。

ストーリーテリングではいつの日か、何作品かタイプの違うお話を一人ですれゆるような「一人のおはなし会」をやりたいと考えています。また、これからの長い人生を生きていく子ども達に、「生きることは素晴らしい！」と思えるようなお話を語ってみたいと思います。